

子育てと教育・福祉の充実をめざします

市会報告

神戸市議員 (東灘区選出) **やの こうじ**

事務所：神戸市東灘区御影中町 2-8-3-207
TEL/FAX 078-841-2255
✉ yano.koji2018@gmail.com
市議員団ホームページ▶https://kobe-miraisig.jp/

市議員団ホームページ

編集・発行：こうべ未来 市議員団 〒650-8570 神戸市中央区加納町6-5-1 / TEL:078-322-5844 FAX:078-322-6161

令和5年 第3回定例市会【9月議会】開催 日程(9月14日～10月24日)

9月議会の決算特別委員会にて、建設局、危機管理室、消防局、水道局に対して質疑を行いました。市民のみなさまから届いた様々な課題の改善・実現に向けて、市会でも機会ある度に声をあげています。

引き続き、安全・安心なまち神戸・東灘をめざして、全力で努めてまいります。

建設局への質疑 (9月27日)



質疑の様子



1. 公園施設の改築更新について

質疑 市民の方から「遊具が使用できないままだ」「公園のベンチの塗装がすぐに剥がれてしまう」など様々な要望が届くが、公園施設の改築更新には、このような要望も踏まえているのか。

答弁 公園利用者の安全確保を最優先に、地域のみなさまの声を十分に聞きながら整備を行っていききたい。

要望 市民からの小さな要望にも丁寧に取り組んでいただき、子どもたちが楽しく遊べる公園づくりをお願いしたい。



甲南町小公園：丸太型イスの設置



宇柳公園：時計の設置と巨石の撤去

2. 拠点公園の整備について

質疑 拠点公園※に六甲アイランド公園も対象とし、障がいのある子もいない子もともに楽しめる、インクルーシブ※の視点を取り入れていただきたい。また、エアコン完備の授乳室や更衣室等も併設できないか。



KOBEパーク リノベーション

答弁 六甲アイランド内の公園は、開設から30数年が経過している。障がい者や乳幼児も利用できる「インクルーシブな視点」を意識した施設整備が重要だと考えている。

六甲アイランド公園など拠点公園の整備には、誰もが使いやすい公園づくりに努めていきたい。

※拠点公園…地域のイベント利用など、まちづくりの核となる公園

※インクルーシブ…障がい者に限定しない全ての人を対象とし、様々な差異を全て包み込む考え方

要望 六甲アイランドのサン広場に、エアコン完備の授乳室(ふわふわドーム前)が開設されている。今後も神戸市内に増やしていただきたい。



六甲アイランド・ふわふわドーム前の授乳室

3. ハイキングコースについて

質疑 気軽に登山を楽しむ人が増えたことで、装備が十分でないまま入山する登山者が後を絶たず、救助を求める事案を大変危惧している。案内看板の設置など、種々の対策が早急に必要ではないか。



神戸登山プロジェクト

答弁 より安全に登山をしていただけるよう、登山道の維持・補修はもとより、案内板や道標の新設・更新を計画的に進めていきたい。



布引の滝：周辺案内図

要望 十分な安全対策や情報提供(多言語対応)など、環境整備に努めていただきたい。

4. 税関前歩道橋の整備について

質疑 三宮周辺地区と新港突堤西地区など、ウォーターフロントエリアをつなぐ「渡りたくなる歩道橋」の具体的な整備内容は、

答弁 架け替えにより歩道橋全体の幅員が現状約2mから4mに拡幅し、北西側の東遊園地と南東側のみなどのもり公園を斜めに渡る経路を新たに設けることで、上から見た形がN字状の全体形状となっている。



税関前：渡りたくなる歩道橋イメージ図

要望 南側に新設されるエレベーターについては、高齢者や複数台の車いすやベビーカーが利用しやすい大型のものを整備していただきたい。

危機管理室・消防局への質疑 (10月2日)



質疑の様子



1. 避難所におけるスマホ等の充電対策について

質疑 災害情報の収集や家族等との連絡手段に、スマホ等を利用することから、多くの避難者が見込まれる小・中学校の避難所には、複数台の非常用蓄電池を配備すべきでは。

答弁 避難所の電力確保は、生活環境確保の観点から非常に重要である。蓄電池も含め様々な電力供給体制を構築し、避難所の電力確保に努めたい。



2. LINEを活用した災害情報の発信について



神戸市公式LINE

質疑 本市のホームページと同様に「神戸市公式LINE」も、災害が発生した際には、画面を災害モードに切り替えることや、災害に関する情報を積極的に配信すべきでは。

答弁 既存の発信ツールに加えて、SNSの活用も必要不可欠と考えている。LINEによる配信も前向きに検討したい。

要望 他市町村の良いところを取り入れながら、市民のみなさんが、安全安心に暮らせる取り組みを頑張っていたきたい。

3. 地域が設置する防犯カメラに対する支援の継続について

質疑 地域からのニーズが高い以上、今後も地域カメラに対する補助制度を本市として継続していくべきでは。

答弁 今後の防犯カメラ事業全体のあり方について検討を行っている。ご指摘も踏まえながらよく検討し、固まり次第お示しさせていただきたい。



要望 ニーズが高い地域カメラの増設は、兵庫県警にとっても非常にプラスになる。県と連携しながら増強していただきたい。

4. 各消防署における防災教育の取り組みについて

質疑 親子見学会を各消防署で実施し、子どもの学びを通じて親世代にも防災意識を持ってもらうことが大切である。今後の地域の防災教育をどのように推進していくのか。

答弁 地域の防災力の向上のためには、全ての世代が防災に取り組む姿勢を持つということが大切である。幼稚園や児童館からの見学の受入れの際には、保護者の参加も促している。子どもたちとその親世代の防災意識が高められるように努めてまいりたい。

5. 地域防災の担い手の高齢化対策について

質疑 防災福祉コミュニティの活性化のために、若い世代が継続して防災に関心をもち、地域活動に参画しやすい仕組みが必要ではないか。

答弁 防災リーダー研修などに若い方々の積極的な参加を通して、地域で防災を担う後継者育成に取り組みたい。

要望 先日、住吉中学校生徒による人命救助という尊い行動に対し、東灘消防所長から感謝状の授与があった。教育委員会と連携し、今後も市立中学校生徒への心肺蘇生法研修の継続をお願いしたい。



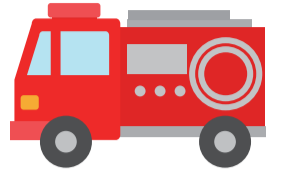
神戸市民防災総合センターにて

6. 消防団業務のICTの活用について

質疑 地域防災の中心的な存在である消防団の活動を支援するためには、防災拠点や資機材整備のみならず、ICTも活用するなど、今の時代に合ったきめ細やかな支援が必要ではないか。

答弁 今後も消防団活動の支援のために、ICT技術をどう活用できるかという視点で、消防団の意見を聞きながら適切に進めたい。

要望 消防団の消防車更新の際には、誰もが運転できるオートマチック車で、エアコン付の車両をお願いしたい。



水道局への質疑 (10月3日)



質疑の様子



1. 水道料金の安定徴収について

質疑 水道料金の安定徴収のために、納付書での支払いから、口座振替やクレジットカード払いへの切り替えの促進が必要では。



水道局ホームページ

答弁 金融機関の追加や検診時に投函している検針票の裏面を利用した広報などを通して、切り替えの促進に取り組んでいきたい。

要望 納付書の発送は手間がかかり、払い忘れや長期出張中で納付できないケースもある。引き続き、切り替え促進の周知に努められたい。

2. 子どもたちへの広報について

質疑 学校側の事情や考え方もあるが、より多くの学校の見学を受けられる体制作りや、学校への働きかけの検討も必要ではないか。

答弁 学校の見学を可能な限り受け入れ、その体制も十分整備していきたい。
浄水場見学や体験型の広報を行い、水道事業への興味関心が高められるように工夫していきたい。



一滴ちゃん

3. 水管橋の維持管理の強化について

質疑 地中にある配水管とは異なり、目視できる水管橋の漏水が、市民に与える不安は大変大きいものと思われる。水管橋の維持管理を、具体的にどのように強化していくのか。

答弁 水管橋の点検方法や劣化状態の判断基準の最新情報を収集しながら作業を進め、漏水等により市民にご心配をおかけすることがないように点検を強化したい。

要望 6月に発生した六甲大橋の水管橋の漏水事故では、市民に大きな不安を与えた。

点検される方が事故に巻き込まれないよう、ドローン等を活用し、最新の注意のもと取り組まれない。



神戸市須磨区：送水トンネル工事の視察

神戸市会議員
(垂水区)

川内 きよなお

市会報告

ご相談はお気軽に

川内きよなお事務所
神戸市垂水区大町1-2-10
TEL : 080-6175-4877
E-mail : bucfq906@hi-net.zaq.ne.jp

編集・発行 こうべ未来市会議員団 〒650-8570 神戸市中央区加納町6-5-1 TEL : 078-322-5844 FAX : 078-322-6161

令和5年9月議会（9月14日～10月24日）が閉会

この度の9月議会では、令和4年度の神戸市各会計決算を審議しました。令和4年度の一般会計決算は、社会保障関係経費や投資的経費が増加した一方、「行財政改革方針2025」に基づく取り組みを着実に進めたことなどから、財源対策によることなく、11億2,700万円

の黒字を確保したこと、また、新型コロナウイルスが収束しない中でありながら、ほぼ予算通りに事務事業が達成できたことを評価して、令和4年度神戸市各会計決算及び関連議案合計24件を認定・承認しました。

決算特別委員会



第1分科会で質問

私は、第1分科会に所属し、(地域協働局) (都市局) (建築住宅局) (交通局) に対して質問しました。その中から都市局に対しての質問をご報告いたします。

都市局 垂水駅前再整備にかかる交通安全対策について

Q 川内議員 垂水小学校南西側に位置する南北道路「銀座通り」の交通規制を北側向き一方通行を南側向き一方通行に変更するとともに、自動車の通行禁止時間をなくす提案をしたと聞いている。

南北道路である「銀座通り」の南端部が接続する垂水駅前北側の東西道路は2号線に出るために右左折する通過交通が非常に多く、朝の通勤・通学時間帯には、国道2号方面から通学する多くの垂水小学校の児童生徒が登校していることや垂水駅へ通勤・通学する歩行者の交通量が多いこともあり、現在も危険な状況である。「銀座通り」を南進に変更することで、駅前交差点付近においては、更なる交通量の増加が予想され、児童・高齢者など歩行者の安全が確保できるのか懸念していたところである。神戸市の提案した交通規制の変更の提案は新聞紙上では「案は白紙」との記載であったが当局の考えはどうか伺いたい。



駅前南から北へ

A 副局長 「沿道から反対署名が出されている状況で交通規制の変更は出来ない」と判断している。引き続き、地域住民と共に交通対策の必要性について検討を行いたい。

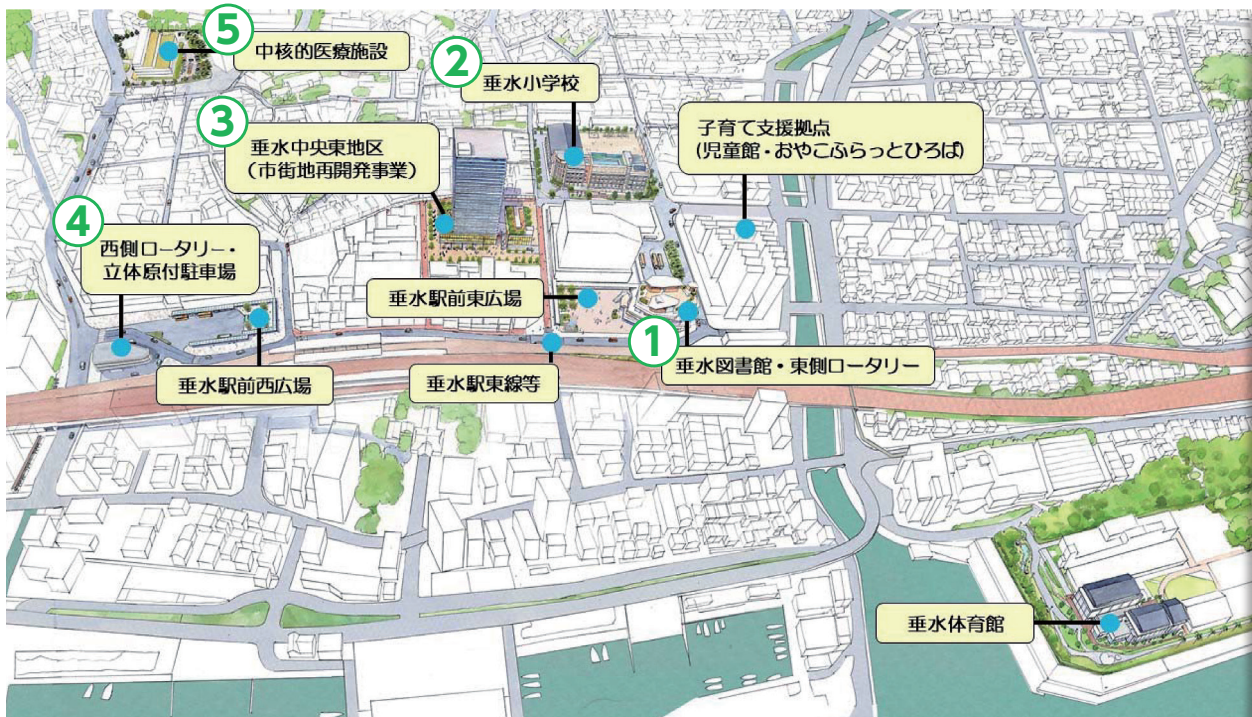
Q 川内議員 垂水小学校南東交差点を誤って西進してしまい、小学校南西交差点で時間規制の通行止めのため、Uターンしている車をよく見かける。小学校近くであることから、児童に危険が及ぶことのないよう早急な対策が必要と考えるが？



垂水小学校前南西交差点

A 副局長 垂水小学校南東交差点に入る前に、注意喚起するなど、この件に関しては早急に対策する。

垂水駅前再開発



垂水活性化プラン

- ①新垂水図書館**
地下1階・地上4階（1階ロータリー）
蔵書数12万冊（現8万5千冊）
- ②垂水小学校**
地上5階
教室数28教室（現21教室）
- ③垂水中央東地区市街地再開発事業**
地上32階（戸数315戸）
- ④西側ロータリー・立体原付駐車場**
1階：一般車ロータリー、原付専用駐輪場
2～3階：原付専用駐輪場
- ⑤中核的医療施設**
産科・小児救急を含めた救急機能を持つ急性期病院

「こべっこ発達専門チーム」によるモデル事業開始（令和5年10月から）

私は、令和4年11月議会において、こどもの発達に関する相談窓口の待機期間が長すぎるについて、下記の内容の質問（背景）をしました。久元市長からは、前向きに検討していきたい旨の答弁があり、令和5年度の予算に反映出来ました。

1 背景

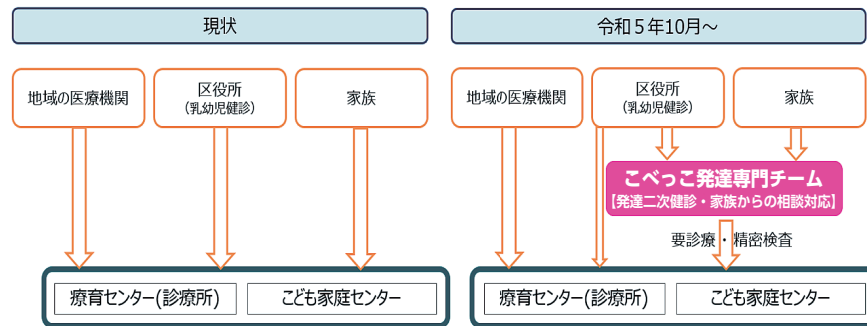
- 発達障害に対する社会の理解が広がり、こども家庭センターでの相談・検査、療育センター診療所での診察・訓練等、専門機関の利用を希望される保護者が増加している。
- そのため、こども家庭センターや療育センター診療所の待機期間が長期化しており、抜本的な対策が求められている。

2 事業の概要

子どもの発達相談支援体制を充実させ、早期に診察や検査を受けられるように、医師・保健師・心理士・福祉の専門職で構成する「こべっこ発達専門チーム」（以下、専門チーム）を令和5年4月に発足した。

待機期間が長期化している西部療育センター診療所の担当区域である垂水区・西区において、未就学児を対象としたモデル事業とし

て、①乳幼児健診後の発達二次健診 ②家族相談を本年10月から開始する。



3 期待する効果

- 子どもの成長や発達が気になる家族からの相談に対し、**専門チームが対応**することで家族の不安や悩みを軽減し、適切な支援先へ早期につながるができる。
- 専門チームで得られる知見やノウハウを全市展開することで、地域の関係機関の対応力が上がり、市民がより身近な地域で相談や支援を受けることができるようになる。

通院医療費助成の対象を**高校生**まで拡大します

- すべての高校生世代が対象
- 1回400円、月3回目からは無料
- 入院は無料

子ども医療費助成合計
 (1年間で53.5億円)
 ※内高校生世代の通院医療費助成 (8.6億円)



自己負担額（令和5年10月～）

対象	通院	入院
0歳～2歳	自己負担なし	無料
3歳～ 高校生	1日最大400円を月2回まで* (3回目以降は無料)	

*医療機関や薬局ごとに上限額が適用されます。

★今後は3歳～高校生世代までの通院の助成拡大に向けて意見反映して参ります。

「第30回神戸ルミナリエ」に向けて新たな試み

神戸ルミナリエは、阪神・淡路大震災が発生した1995年に初めて開催されて以来、2019年（第25回）に至るまで、神戸を代表する冬の風物詩として毎年開催されてきました（第26回～28回は新型コロナウイルスの影響により中止し代替事業を実施）。しかし、コロナ前から来場者の過度な集中による諸課題があったことから、**今年度の第29回**ではその解決を図り、来場者の皆さんが安全・安心に楽しんでいただけるよう、下記のとおり新たな試みを行い、その結果を第30回神戸ルミナリエに反映して新しい神戸ルミナリエへとつなげます。我が会派からの意見表明において、「従来の一方通行から周遊型に変わり、自由に散策しやすくなった。この強みを活かし、近隣の飲食店等へ経済効果が波及する仕組みを構築されたい」旨の要望を付しました。



期間 2024年1月19日(金)～1月28日(日) 10日間

会場 ●東遊園地 ●旧外国人居留地 ●メリケンパーク

きど 神戸市議員 木戸 活動報告 2023.12

1974年生まれ

- 神戸大学卒業、京都工芸繊維大学大学院修了、淡路景観園芸学校修了
- 京都で植木職人として修行後、設計コンサル勤務。
国営明石海峡公園の基本設計や自治体の景観形成条例策定等に携わる。
- 兵庫県議会議員1期（2019～2023）
- 2023年4月より神戸市議員（神戸市須磨区）



ご存じでしたか？歯周病は認知症を悪化させること。

歯周病と全身疾患

裏面 JR須磨駅の再整備に関するアンケート結果

歯周病は全身に悪影響

「歯は万病のもと」と言われますが、歯を失う原因の一番が歯周病です。

近年は、**歯周病は口の健康だけではなく、全身の病気とも関連している**ことがわかってきています。特に、歯周病と認知症の関連は注目を集めており、2020年、歯周病菌が体内に侵入し、認知症の原因物質が脳に蓄積して記憶障害が起きる仕組みを九州大学などの研究チームが解明しました。

歯周病菌が影響する慢性疾患

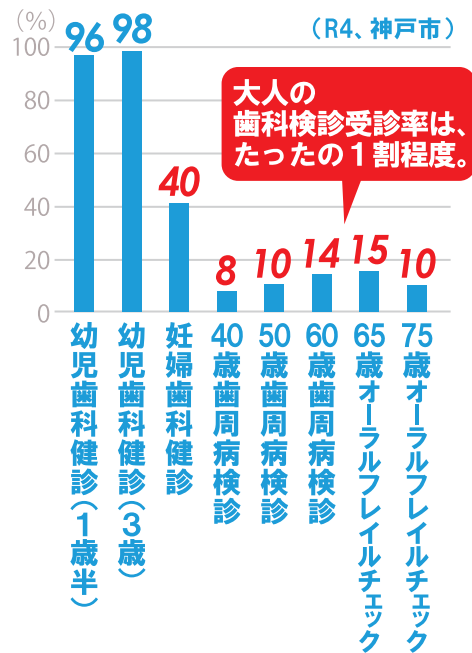
認知症	癌	インフルエンザ
誤嚥性肺炎	間接性リウマチ	低体重児出産
エイズ	パーキンソン病	肥満
虚血性心疾患	心内膜炎	心筋梗塞
動脈硬化症	骨粗しょう症	糖尿病

神戸市の取り組み

厚労省の歯科疾患実態調査(R4)では、4mm以上の歯周ポケットを持つ人(いわゆる歯周病)の割合は、全体では47.9%で、65歳以上は56%と半数を超えました。これは、過去の同

様の調査から見ると増加傾向にあり、この分野の取組みは行政の大きな課題となっています。

この問題に対し、神戸市では平成28年に、「神戸市歯科口腔保健推進条例」を制定し取組みの推進を目指していますが、依然、**歯科健康診査の受診率は低い状況**が続いています。



※オーラルフレイルとは、歯と口の健康の衰えた状態をいいます。

歯科健康診査の受診率

神戸市民の歯と口の状態

神戸市では、高齢者のオーラルフレイルチェック診断を実施し、実に**77%がオーラルフレイル状態**であると診断されています。

これも大きな問題ですが、さらに、歯と口の健康に**地域格差も生じています**。

ご意見、ご相談、お気軽にご連絡ください！ 神戸市議員 木戸さだかず tel. 070-7645-4168

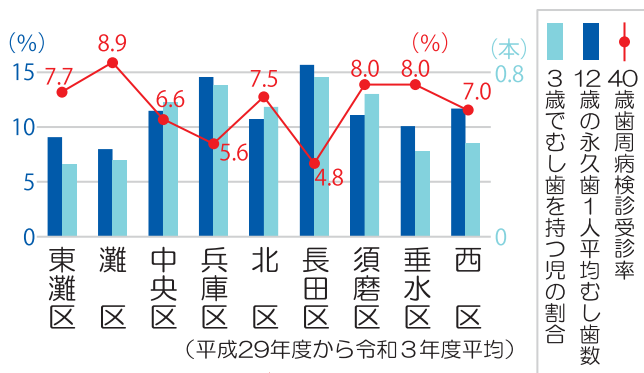
健康の地域格差は検診受診率と相関していることから、受診率の低い地区における取組みが喫緊の課題となっています。

神戸市民の歯と口の状態

高校生の歯肉炎 …………… 21.4%
 40歳の歯周病 …………… 49.0%
 65・75歳のオーラルフレイル … 77.0%

オーラルフレイルになると、4年後には要介護状態に2.4倍なりやすいと言われています。

市内の健康格差 …………… 3.2倍



歯科検診受診率の低い地区ほど、むし歯の子どもの多いことがわかっています。

歯の健康を守る先進国はスウェーデン！

スウェーデンでは「歯の健康」を国家戦略として取り組み、「治療から予防へ」という方針のもと、全国民に定期的な歯のメンテナンスと、口腔内を健康に保つための指導を受けることを義務付けており、現在では**国民の90%以上が定期的に歯科検診のために通院しています。**

国民が予防歯科を受けやすくなるように様々な制度も整備されており、全世代を通して虫歯や歯周病のために歯を失う人は非常に少ない状況です。

R4決算委員会で質疑

平均寿命も伸びた今、寿命も大切だけれど**健康で居続けることの大切さ**が注目されるようになってきました。そこで、本年10月の決算委員会では、歯と口の健康に関して質疑しました。

今回は、オーラルフレイルチェック事業について、チェック後のフォローアップの課題を取り上げました。

歯科医師会からも予防歯科をはじめ様々な要望があがっており、取組みに向けて、私も声をあげていきたいと思っています。

JR須磨駅の再整備に関するアンケート結果

都市にありながらビーチまで徒歩0分の駅は世界でも殆どないとのこと、その価値はもっと評価されてもいいと思うJR須磨駅。

一方で、駅周辺の再整備を求める声も多く、婦人会からの要望も受け、神戸市では、周辺の方々が求める機能を知るべくアンケート調査を実施しました。

今後は、この結果をもとに駅周辺のあり方を検討していくことになっています。

調査期間: 令和5年6月19日～7月31日
 方法: 郵送(4,350件)とWEB
 回答数: 2,295件

☆駅の課題と感じる TOP3

- 1 買い物できるところが少ない
- 2 飲食店が少ない
- 3 人が集まる場所がない

☆駅周辺のまちに望む TOP3

- 1 日用品、食料品が揃うまち
- 2 海と山を感じる、居心地のよいまち
- 3 人が集まる活気あふれるまち

ご意見、ご相談、お気軽にご連絡ください！

神戸市議員 木戸さだかず

〒654-0142
 須磨区友が丘1丁目109
 電話：070(7645)4168
 メール：s-kido@jcom.zaq.ne.jp

お名前

お電話番号

ご意見



いとう 神戸市会議員

伊藤めぐみ

こうべ未来市会議員団ニュース

2023年秋 35号

編集・発行

こうべ未来市会議員団

〒650-8570 神戸市中央区加納町6-5-1
TEL 078-322-5844 FAX 078-322-6161

「こどもがまんなかの神戸へ!!」

こどもの視点で神戸市の課題に取り組んでいくために
こどもにとって一番の利益を考え
こどもと家庭のための支援を拡げて
こどもたちから意見を聴き 神戸のこどもたちの幸せを願って
伊藤めぐみは取り組んでいます!



プロフィール

1969年4月27日生まれ 酉(とり)年・牡牛座・A型
父は、元神戸市会議員 田中健造

●谷上幼稚園、谷上小学校 ●山田中学校
●夢野台高校40回生 ●ノートルダム清心女子大学

経歴

●神戸市立中学校教諭
●不登校支援や情報教育指導員 ●大手前大学
●2011年初当選 ●2019年2期目当選 ●2023年3期目当選

- 神戸みなとライオンズクラブ
- 北神戸軟式少年野球連盟顧問
- 菊水山登山会
- 親鸞会



R4年度

決算代表質疑

2023/9/22

Q&A



Q

不登校支援の拡充を

伊藤：児童生徒が行き詰まった時に、多様な選択肢を選べるのが大切である。登校しづらい児童生徒や保護者の思いに寄り添った早期支援と、学校内でほっとできる居場所である**校内サポートルーム**を整備し、専任の“サポートルームスタッフ”を配置することが重要だと考えるが、どうか。



2023.9.22 決算代表質疑 ▲

A

教育長：校内の居場所作りは、自分の学級に入りづらい児童生徒が校内でも安心して過ごせるよう、**校内サポートルーム**（教室以外の居場所作り）を整備している。中学校は今年度中に全校で、小学校は現在、各校の状況を把握している。場所の確保と、学習指導員や学生ボランティアの活用法も含めた人的面で工夫し今後進めていきたい。

伊藤の要望

「学びの多様化学校」（不登校特例校）も、令和7年4月の設置に向けて準備をお願いします。

9/27
スタート

不登校支援 相談センターの設置

保護者がどこへ相談すれば良いかわからず一人で悩みを抱え込むことがないように、不登校に関する総合相談窓口として「不登校支援相談センター」を開設しています。児童生徒の状況や悩みごと・困りごとを丁寧にお伺いしながら、保護者に寄り添って助言します。

電話：078-366-0123

平日
9時~17時

Q 神戸におけるパートナーシップ制度が創設

これまでの経緯

- 2022年 6月 本会議で伊藤めぐみが一般質問で質問する
- 2022年 10月 福祉環境委員会で、陳情第158号「神戸市において同性パートナーシップ承認制度の創設に向けた協議を開始してください」が採択
- 2023年 5月 2023年中に制度を創設すると市長答弁

伊藤：制度の創設を訴えてきた一人として、神戸市の取り組みを高く評価している。今までこの制度がなかったことで不利益を受けてきた同性パートナーと暮らしている人たちや、悩みや生きづらさを抱えている市民の方々に寄り添う制度とすることが重要である。神戸市におけるパートナーシップ制度についてどのような姿勢で取り組むのか。

A 副市長：市民に寄り添った対応を行い、同性異性などの性別に関わらず、また性的マイノリティの方も含め、互いを人生のパートナーとして尊重し合い、日常生活においても対等な立場で継続的に支え合い、欠かすことのできない関係として認め合う2人の関係を応援し、共同生活の困難さを解消できる制度として具体的に検討を進めていきたいと考えている。全ての市民の人権が尊重され、その個性や能力を発揮する機会が保障される多様性のある社会を実現する。国県などの関係機関や専門家、当事者支援団体との連携を含め、市民の理解促進や生活上の困り事などを解消できる取り組みなど、幅広い観点で取り組みを進めていきたい。

伊藤の要望

LGBTQの悩みを抱えている児童生徒や高校生や学生、若い世代のみなさんに寄り添っていく等、学校園での取り組みも大変重要です。様々な人が暮らす神戸の街、多様性が尊重される神戸市へとさらに進化していくために、庁内外の取り組みを進めてください。



～誰にも相談できずに、一人で悩んでいませんか？～
 神戸市
LGBTQ 電話相談
 毎月第2・4木曜日 / 17:00 ~ 20:00
 ☎ 078-322-5043



質疑したこと

- こども中心の施策について
- 墓園と斎場の今後について
- 不登校児童生徒の支援策について
- 神戸市におけるパートナーシップ制度について

◀ 本会議場にて質疑しました

神戸のこどもたちが、自分らしく生きていく支えになりたい！

市会議員として9年目の今。

教育こども委員会〔教育委員会・こども家庭局〕のメンバーとして学校や教育の課題、子育ての課題に日々取り組んでいます！

